

J-FLECにおける金融経済教育 の推進に向けた取り組み

J-FLEC
金融経済教育推進機構





1. 組織概要

名称

金融経済教育推進機構

(英)J-FLEC: Japan Financial Literacy and Education Corporation

設立

2024年4月5日

資本金

10 億 5,729 万 6 千円

政府	:10 億 729 万 6 千円 (5,000万円)
日本銀行	:2,500 万円 (2,500万円)
全国銀行協会	:1,250 万円 (1,250万円)
日本証券業協会	:1,250 万円 (1,250万円)

(注)()内は、政府による設立にかかる初期費用を除くベース

職員数

約70名

ウェブサイト

<https://www.j-flec.go.jp/>



J-FLEC公式Xアカウント

https://x.com/J_FLEC?s=09



根拠法

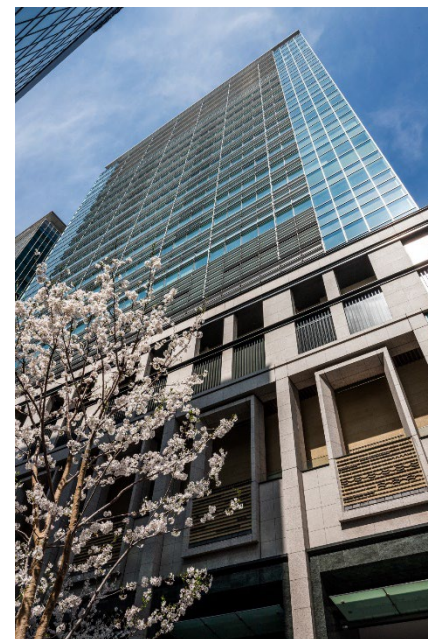
金融サービスの提供及び利用環境の整備等に関する法律
(2024年2月1日施行)

目的

適切な金融サービスの利用等に資する金融又は経済に関する知識を習得し、これを活用する能力の育成を図るための教授及び指導(金融経済教育)を推進すること。

所在地

室町古河三井ビルディング (コレド室町2)
東京都中央区日本橋室町2-3-1 9F



ステップ 1 講師派遣(出張授業)、イベント・セミナー

1

金融経済教育の機会を提供し、
ライフプラン・家計管理・資産形成などの重要性について理解していただく。

J-FLEC
(J-FLEC講師他)**ステップ 2 「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験**

2

1時間の無料相談体験を通じて、自分自身が取るべき具体的な行動を知っていただく。
また、お金に関するアドバイスの価値や意義を認識していただく。

J-FLEC
(J-FLEC相談員)**ステップ 3 「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポン**

3

相談料の割引クーポンを配布することによって、実際にお金に関するアドバイスを受
けるきっかけとしていただく。そして、自分自身が取るべき具体的な行動についての
理解を深めていただく。

クーポン対象事業者
(J-FLEC認定アドバイザー)**個人の金融意識・
金融行動の変容****一人ひとりが描くファイナンシャル・
ウェルビーイングの実現**

- 2024年8月2日(金)
 - ✓ 「J-FLECはじめてのマネープラン」電話相談を開始。
- 8月14日(水)
 - ✓ 講師派遣(出張授業)で使用する「標準講義資料」及びJ-FLECに事業移管した業界団体の教材を一般公開。
- 8月26日(月)
 - ✓ 講師派遣(出張授業)の申込受付を開始。
 - ✓ J-FLEC認定アドバイザーの認定申請の受付開始。
- 10月21日(月)
 - ✓ 「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験の申込受付開始。
- 10月23日(水)
 - ✓ J-FLEC認定アドバイザーのリスト・プロフィールを公表。
- 11月26日(火)
 - ✓ 「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポンの配布を開始。
- 12月
 - ✓ J-FLEC認定アドバイザーの数が1,000名を突破。

※ イベント・セミナーについては、金融機関・地方自治体・アカデミア等と連携しつつ、全国各地で実施中。

※ J-FLEC公式YouTube、公式X(旧Twitter)においても、継続的にお金に関する情報を発信中。

2. 事業の進捗状況

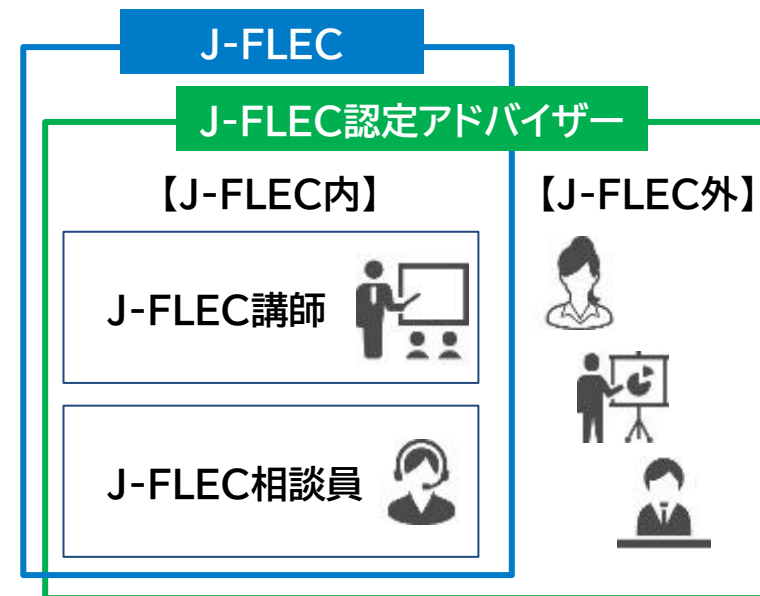
□ J-FLEC認定アドバイザーとは

J-FLECでは、J-FLECが定める認定要件に合致し所定の審査を通過した個人を、一定の中立性を有する顧客の立場に立ったアドバイザー(「J-FLEC認定アドバイザー」)として認定・公表します。

- ◆ J-FLEC認定アドバイザーは、(i)金融商品の組成・販売等を行う金融機関を兼業していない、(ii)上記金融機関から、顧客に対するアドバイスの信頼性等に影響を及ぼしうる報酬を得ていない、といった要件を満たす必要。
- ◆ J-FLEC認定アドバイザーは、家計管理、生活設計、NISA・iDeCo等の資産形成支援制度、金融商品・サービス、消費生活相談等についてアドバイスを行う者を想定。
- ◆ J-FLECは、**J-FLEC認定アドバイザーの氏名のほか、個人がアドバイスを依頼する際に参考となる情報**(保有資格、経歴、得意分野、報酬の目安、自己PR、実際にアドバイスを受けた個人からの評価等)**を公表**。

□ J-FLEC講師・相談員

所定の審査を通過したJ-FLEC認定アドバイザーは、**J-FLECが行う講師派遣(出張授業)の講師、無料相談の相談員業務を行うことが可能**です。



□ 2024年8月26日(月)より、J-FLECホームページにおいてJ-FLEC認定アドバイザーの募集を開始。

【J-FLECホームページに掲載する登録フロー】

01

お申し込み

募集要項を確認の上、申し込み
フォームから申請

02

書類・面接審査

J-FLECによる書類審査に合格し
た方へ、面接審査をご案内

03

プロフィールのご提出

面接審査に合格した方は指定さ
れた研修を受講し、公開用プロ
フィールを提出

04

ホームページ掲載

J-FLECのホームページにプロ
フィールを掲載

【J-FLECホームページに掲載する応募要件等(一部抜粋)】

認定要件

- 次のいずれにも該当しないこと
 - 金融商品の組成・販売等を行う金融機関等に所属している
 - 金融商品の組成・販売等を行う金融機関等から、顧客に対するアドバイスの信頼性・公正性に影響を及ぼし得ると考えられる報酬を得ている
- 家計管理、生活設計、NISA・iDeCo等の資産形成支援制度、金融商品・サービス、消費生活相談等に関するアドバイスを提供するために有益な資格(CFP®、AFP、FP技能検定(2級以上)、外務員(1種)、弁護士等の士業、消費生活相談員など)及び一定の業務経験(原則として当該資格に関するもの)を有すること
- 法令諸規則違反等による、刑事罰、処分その他の措置を受けていないこと
- 反社会的勢力ではないこと
- その他、金融経済教育推進機構が不適當と認めた者でないこと

資格等及び 一定の業務経験の例

「アドバイスを提供するために有益な資格及び一定の業務経験」を例示。

- J-FLEC認定アドバイザーの認定要件にある「アドバイスを提供するために有益な資格及び一定の業務経験」として、以下を例示。

資格等(例)	一定の業務経験(例)
CFP®、AFP、FP技能検定(2級以上) 外務員(1種) 証券アナリスト プライベートバンカー 公認会計士 税理士 弁護士 司法書士 行政書士 社会保険労務士 消費生活相談員 消費生活アドバイザー DCプランナー(1級) 住宅ローンアドバイザー 銀行業務検定(税務2級) 銀行業務検定(相続アドバイザー3級以上) 銀行業務検定(年金アドバイザー3級以上) 金融窓口サービス技能検定(1級) 投資助言・代理業者	個人からのFP分野における相談・提案業務 個人からの公的年金・社会保険に係る相談 個人への対面による金融商品の提案・販売 個人への対面による保険契約の提案・販売 個人への不動産購入の資金計画作成・提案 個人への住宅ローンに係る審査・相談等 個人融資に係る審査・財務状況分析・相談等 個人に対する各種税務相談(確定申告、相続、遺言等) 成年後見制度に係る相談 保護者に対する教育資金プラン等の提案 児童・生徒に対する金融経済教育の実施 個人への金融商品に係る投資助言

- ❑ J-FLEC認定アドバイザーの称号の信頼性を担保するため、各J-FLEC認定アドバイザーが遵守すべき事項として、以下のような行為基準を定めている。
- ❑ 毎年の更新制とするとともに、仮に行為基準に違反する行為が認められた場合には、認定の取消し等の処分を行う予定。

1. 法令遵守

- 自身の行うアドバイスが違法、不当なものとなることがないように、関連する法令、ガイドライン等を理解し、遵守する。それらの間に相反する内容がある場合は、最も厳格なものに従う。

2. 信頼性の保持

- 「J-FLEC認定アドバイザー」の称号を使用する場合には、称号の権威と信頼性を保持するよう良識ある方法を用いることとし、誇大又は煽動的な表示等で利用者である個人の判断を誤らせるおそれのある表現は避けなければならない。
- 利用者である個人の各々のライフプランやニーズ、目的、資産の状況を十分に理解し、それらを踏まえて公正かつ中立なアドバイスを行わなければならない。
- アドバイスを提供する際、利用者である個人の利益に資することにのみ専念しなければならない。
- 利用者である個人へのアドバイスに関する報酬を請求する場合、事前に利用者と金額または算定方式を合意し、合意していない報酬を請求することはしない。また、利用者である個人と合意したアドバイスに関する報酬以外に、金融商品の組成・販売を行う金融機関等の第三者から、顧客に対するアドバイスの信頼性・公正性に影響を及ぼし得ると考えられる報酬を得てはならない。
- J-FLECもしくは他のJ-FLEC認定アドバイザーの信用を傷つけ、またはJ-FLECもしくは他のJ-FLEC認定アドバイザーの不名誉となる行為をしてはならない。
- 法令違反による刑事罰、処分、その他の措置を受けた場合、利用者である個人との間で紛争が発生した場合、「J-FLEC認定アドバイザー」の認定要件に適合しないまたはその疑いが生じた場合は、直ちにJ-FLECへ報告する。

3. その他

- 新聞・雑誌・書籍・ポスター・テレビ・ラジオ・ホームページ・SNS等を通じて不特定多数の者に対して情報発信を行う場合には、予めその媒体及び概要についてJ-FLECへ届け出なければならない。
- 金融機関等からの依頼を受けて当該金融機関の社員向け研修の講師やセミナーの登壇、コラムの執筆、資料の監修等の業務を行う場合には、予めその概要についてJ-FLECへ届け出なければならない。

- 2025年3月31日(月)時点で、合計1,236名のJ-FLEC認定アドバイザーを認定済。
- J-FLECのウェブサイト上において、J-FLEC認定アドバイザーのリスト及びプロフィールを公開中。

【J-FLEC認定アドバイザー(1,236名)の属性】(2025年3月31日時点)

(性別)

男性	女性
779名 (63.0%)	449名 (36.3%)

※このほか無回答8名あり

(年代)

20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
4名 (0.3%)	53名 (4.3%)	174名 (14.1%)	397名 (32.1%)	509名 (41.2%)	99名 (8.0%)

(保有資格) ※複数の資格を保有している場合は、左側のものから優先してカウント。

CFP	AFP	FP技能検定 (2級以上)	消費生活 相談員等	外務員 (1種)	士業(注)	証券 アナリスト	その他
599名 (48.5%)	256名 (20.7%)	222名 (17.9%)	44名 (3.6%)	44名 (3.6%)	47名 (3.8%)	20名 (1.6%)	4名 (0.3%)

87.1%

(注)税理士、司法書士、社会保険労務士など

【J-FLEC認定アドバイザー(1,236名)の都道府県分布】(2025年3月31日時点)

都道府県名	人数	都道府県名	人数	都道府県名	人数	都道府県名	人数
北海道・東北ブロック		北信越ブロック		近畿ブロック		四国ブロック	
北海道	31	新潟	18	滋賀	10	徳島	8
青森	8	富山	14	京都	29	香川	13
岩手	4	石川	13	大阪	88	愛媛	13
宮城	14	福井	5	兵庫	53	高知	0
秋田	6	長野	11	奈良	18	九州・沖縄ブロック	
山形	9	中部ブロック		和歌山	8	福岡	31
福島	7	岐阜	12	中国ブロック		佐賀	14
関東ブロック		静岡	24	鳥取	6	長崎	17
茨城	17	愛知	47	島根	5	熊本	18
栃木	15	三重	10	岡山	11	大分	14
群馬	11			広島	25	宮崎	9
埼玉	66			山口	14	鹿児島	15
千葉	60					沖縄	7
東京	258						
神奈川	147						
山梨	3						

- 「金融リテラシー・マップ」に沿って、年齢層別に最低限身に付けるべき金融リテラシーを習得いただけるよう、「標準講義資料」をもとに、J-FLECが認定した講師が授業を実施。講義料や派遣に係る交通費は無料(J-FLECが負担)。

年齢層	学べる主な内容(例)
小学生	「おこづかいから学ぶお金の話」 ・おこづかいの使い方、貯め方、お金の流れ・トラブルの事例など ※ ドリル・ゲーム・クイズなども活用した参加型形式もあり
中学生・高校生	「大人になる前に知っておきたいお金の話」 ・収支管理の基本、お金の貯め方のコツ、資産形成と経済活動の関係性、クレジット・奨学金の仕組みと注意点、金融トラブルの防止など
大学生・若手社会人(10代～20代)	「社会人として知っておきたいお金の話」 ・家計管理や給与明細の見方、資産形成の基本(長期・積立・分散)や支援制度(NISAなど)、社会保険と民間保険、クレジット、奨学金、金融トラブルの防止など
中堅社会人(30代～40代)	「将来に向けて知っておきたいお金の話」 ・家計の現状把握から外部知見(お金の専門家)の活用を通じた将来設計・資産形成の考え方、社会保険と民間保険、各種ローン、金融トラブルの防止など
ベテラン社会人(50代以上)	「リタイア前後に知っておきたいお金の話」 ・定年退職後の生活を見据えた年金などの社会保険、退職金、税金の仕組みのほか、資産寿命の延伸、贈与・相続・終活などの概要



※ 特別支援学校向け、教員向けにも研修・授業を実施します。

※ 講義資料は、J-FLEC以外の教育活動を行っている方々にも参考としていただくため、J-FLECホームページにて公開しています。

□ 2025年3月末時点で2,302件の講師派遣を実施。

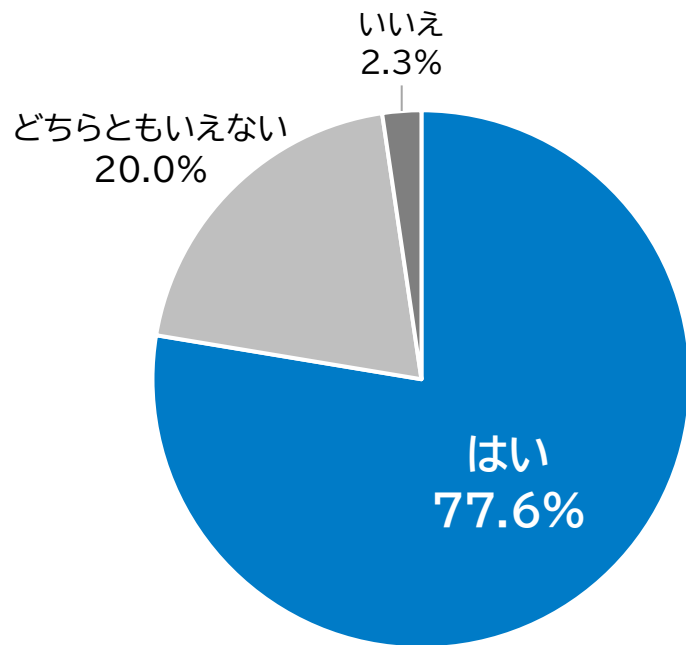
※講師派遣の申込受付開始(2024年8月26日)以降、J-FLECとして講師を派遣した件数。

※2025年3月末時点で、講師派遣の申込件数(2025年4月以降実施分)は915件。

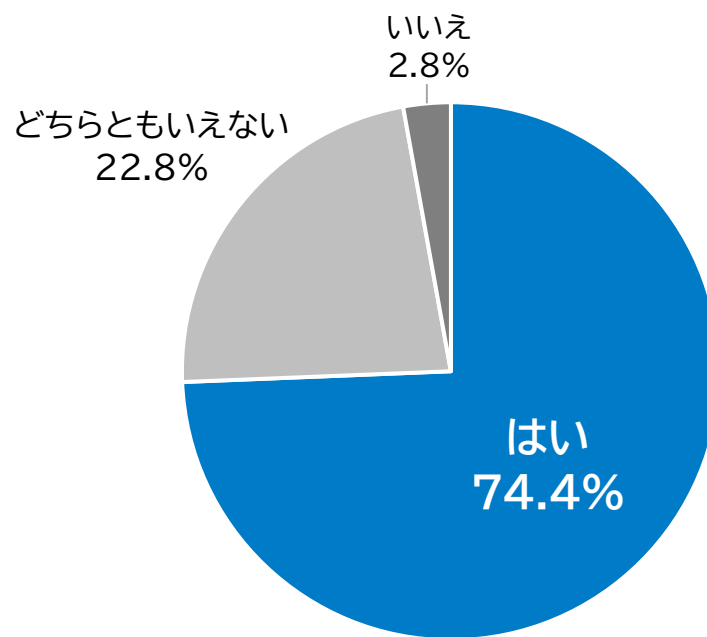
□ 受講者アンケートの満足度平均は4.36(5段階評価)。

※「今回の講義はいかがでしたか」に対する回答(大変よかった、よかった、どちらともいえない、いまひとつ、よくなかった)の平均。

受講前に比べて、金融経済に関する
興味・関心が湧きましたか



今後も金融経済について
学びたいと思いましたか



□ 受講者の主な感想は以下のとおり。

講師派遣先	主な感想
小・中・高 大学等	・ 少し難しそうな内容も、資料や掲示物で感覚的に理解できるよう、とても簡単に説明していただき、子どもたち一人一人が『お金』のことをしっかりと考えることができた。(申込者) ・ 子どもたちの様子を見ながら講義を進めていただいた。グループワークの雰囲気づくりもよかった。(申込者) ・ 生徒目線でわかりやすい例えを使っていたことが理解を深めることができ、自分で調べてみようという意欲を持たせていただいたと思う。(申込者) ・ お金に関することは、大学生でも社会に出てからも関わってくる重要なもの。何となくわかっていた、知っていたことでも今回の講義を通してより深く知ることが出来た。(受講者)
企業	・ 今後の資産運用を具体的に考えようと思っていたため、資産運用に関する基本的な事柄を再確認できてよかった(受講者)。 ・ 勉強するためにも自分でセミナーを申し込む必要がある中、会社で講義を受けることができてよかった(受講者)。
公民館等	・ 目から鱗が落ちる内容。早速、家族と話す機会を持ちたいと思った。(受講者) ・ 小学生の次男のお金の使い方、どう伝えたら良いか悩んでいた、お金に関するお話がたくさん聞けてよかった。(受講者) ・ 後に向けての資金について漠然としていたがもっと意識して、調べて、安心できるよう準備していきたいと思えるようになった。(受講者)

□ 全国各地で、講師派遣を実施中。

都道府県名	件数	都道府県名	件数	都道府県名	件数	都道府県名	件数
北海道・東北ブロック		北信越ブロック		近畿ブロック		四国ブロック	
北海道	46	新潟県	83	滋賀県	35	徳島県	13
青森県	8	富山県	19	京都府	31	香川県	29
岩手県	113	石川県	45	大阪府	107	愛媛県	36
宮城県	20	福井県	25	兵庫県	73	高知県	13
秋田県	23	長野県	25	奈良県	22	九州・沖縄ブロック	
山形県	22	中部ブロック		和歌山県	38	福岡県	25
福島県	45	岐阜県	42	中国ブロック		佐賀県	47
関東ブロック		静岡県	26	鳥取県	31	長崎県	17
茨城県	28	愛知県	168	島根県	49	熊本県	11
栃木県	120	三重県	38	岡山県	43	大分県	35
群馬県	27			広島県	74	宮崎県	31
埼玉県	58			山口県	32	鹿児島県	11
千葉県	90					沖縄県	108
東京都	240						
神奈川県	61						
山梨県	19						

合計:2,302件

(注)上記は、講師派遣の申込受付開始(2024年8月26日)以降、J-FLECとして講師を派遣した件数である。

- ❑ 年齢層に合わせた内容・表現で、家計管理、生活設計、資産形成、保険、ローン・クレジット、贈与・相続、金融トラブルに対する考え方など、幅広く学べるものとして、一般に公開している。

【生活設計】

J-FLEC ② 生活設計 (ライフプランニング) 8

○「将来どんな人生を送りたいか」についての構想を描くことを『生活設計 (ライフプランニング)』といいます。

一人で世界中を旅行してみたい 好きなことをたくさん楽しみたい こんな家で暮らしていきたい

© 2024 J-FLEC All Rights Reserved.

(中学生向け教材より抜粋)

【家計管理】

J-FLEC ① おこづかい帳から何が分かる? 9

○おこづかい帳をつけておくと、自分が何にお金を使ったかがすぐわかるようになります。

○後から見てみると、『もしかしたらいらなかったかも』『別のものに使えばよかった』というふり返りができるようになります。

日付	こと	入ったお金	出たお金	残りのお金
1日	おこづかい	1000円		1000円
3日	おかしを買う		200円	800円
4日	えんぴつと消しゴムを買う		300円	500円
6日	お手伝いをする	500円		1000円
10日	ジュースを買う		200円	800円
11日	おかしを買う		200円	600円
15日	ゲームセンターで遊ぶ		300円	300円
20日	おかしを買う		200円	100円
	合計	1500円	1400円	100円

ちょっとおかしを買いすぎたかもしれない...

© 2024 J-FLEC All Rights Reserved.

(小学生向け教材より抜粋)

【資産形成】

J-FLEC ④ 資産運用におけるリスクの意味合い 36

○資産運用におけるリスクとは『運用成果の振れ幅』のことを指します。「リスクが大きい」とは、「とても危険」という意味ではなく、「大きく儲かるかもしれないし、大きく損をするかもしれない」(運用成果の振れ幅・不確実性が大きい)という意味です。

○『保険で備えるリスク (危険)』とは意味が異なります。

運用成果 時間

リスクが小さい リスクが大きい

振れ幅が小さい 振れ幅が大きい

© 2024 J-FLEC All Rights Reserved.

(中高大学生・社会人向け教材より抜粋)

【資産形成】

J-FLEC ④ 長期・積立・分散投資の効果 53

○『長期・積立・分散投資を組み合わせること』が、より安定的にリターン (運用成果) を得るために効果的と言えます。

長期・積立・分散投資のシミュレーション (例)

2003年1月～2022年12月の毎月主な株式指数に1万円を積立投資した場合

690万円 443万円 240万円

— 長期 (20年継続)
— 積立 (毎月1万円)
— 分散 (全世界・国内株式)

で投資を行うことで、運用資産は一時的な下落もあっても、全体では元本 (240万円) を大きく上回るリターン (運用成果) となりました。

※上記の結果は、将来の投資成果を保証するものではありません。
税金・手数料などは考慮していません。
また、具体指数・商品への投資を推奨するものではありません。

© 2024 J-FLEC All Rights Reserved.

(高大学生・社会人向け教材より抜粋)

【贈与・相続】

J-FLEC ④ 財産を引き継ぐ備えの必要性 32

遺言書が必要ないよ。きっと、家族で話し合って決めるだろう。

私はそれほど多くの資産を持っていないから、もめることはないはず。

＜遺産分割事件の新受事件数と公正証書遺言作成件数＞ (万件)

2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023

■ 新受事件数 (青棒) ■ 公正証書遺言作成件数 (赤棒)

＜遺産価額の認知・調停成立件数＞

2,935件 (42.8%) 2,296件 (33.5%) 1,375件 (20.1%) 251件 (3.7%)

■ 1,000万円以下 ■ 5,000万円以下 ■ 算定不能・不詳

約76%が5,000万円以下

© 2024 J-FLEC All Rights Reserved.

(シニア層向け教材より抜粋)

【金融トラブル防止】

J-FLEC ⑧ ポンジ・スキーム (1/4) 89

○投資詐欺のほとんどが『ポンジ・スキーム』と呼ばれるものです。

○ポンジ・スキームの手口を見ていきましょう。

元本保証で毎月1%の配当が確実に受け取れますよ

本当かな? でも魅力的な商品だから少しだけ投資してみよう

© 2024 J-FLEC All Rights Reserved.

(大学生・社会人向け教材より抜粋)

- ❑ イベントに参加できなかった方や忙しくて長時間の動画が見れない方向けに、J-FLECのイベント動画や金融経済教育を学べる短い動画などをYouTubeで提供。



金融経済教育推進機構 (J-FLEC) チャンネル

@j-flec・チャンネル登録者数 920人・160本の動画

J-FLECは、金融経済教育を推進するため、法律に基づいて設立された中立・公正な...さらに表示

j-flec.go.jp、他1件のリンク

チャンネル登録

ホーム 動画 再生リスト



【アーカイブ動画④】「はじめてのマネーレッスン特別編～公務員のための家計管理と...



J-FLEC 鈴木愛理「お金の知識力」チャレンジ篇 15秒



【字幕あり】「はじめてのサステナブルファイナンス 金融の力で地球のピンチを救お...



お金のキホン「多重債務」チャプター2 ストーリーB: 思わぬ収入の減少で多重債務...



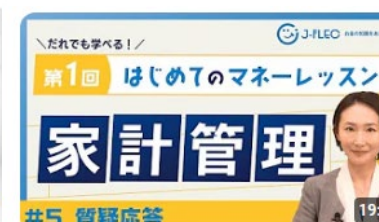
お金のキホン「多重債務」チャプター1 (字幕あり)



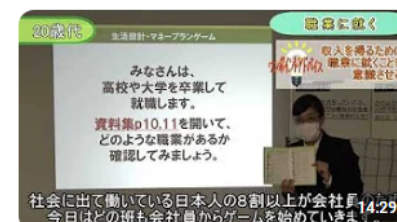
お金のキホン「多重債務」チャプター2 ストーリーC: 予期せぬ急な出費で多重債務に...



お金のキホン「多重債務」チャプター3 (字幕あり)



【アーカイブ動画⑤】「第1回はじめてのマネーレッスン」(質疑応答)



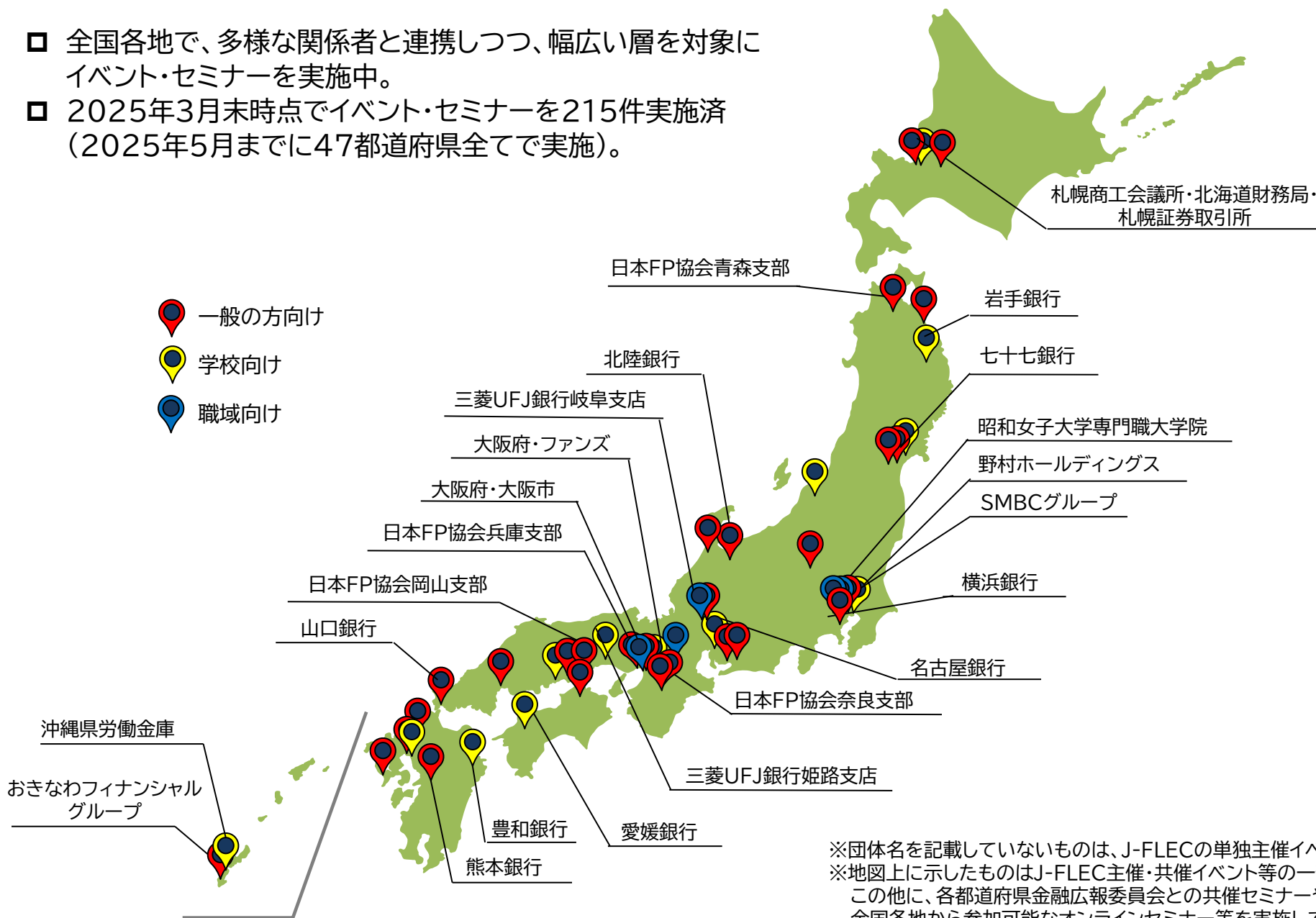
【アーカイブ動画】②【模擬授業】準備～20歳代「生活設計・マネープランゲーム」...



【アーカイブ動画】2時間目の授業進行とポイント「生活設計・マネープランゲーム」

- ❑ 全国各地で、多様な関係者と連携しつつ、幅広い層を対象にイベント・セミナーを実施中。
- ❑ 2025年3月末時点でイベント・セミナーを215件実施済（2025年5月までに47都道府県全てで実施）。

-  一般の方向け
-  学校向け
-  職域向け

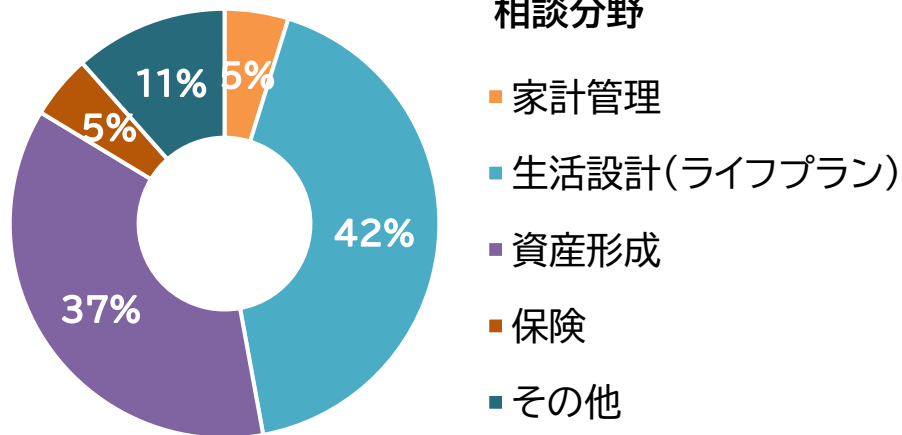


※団体名を記載していないものは、J-FLECの単独主催イベント等である。
 ※地図上に示したものはJ-FLEC主催・共催イベント等の一部である。
 この他に、各都道府県金融広報委員会との共催セミナーや、全国各地から参加可能なオンラインセミナー等を実施している。

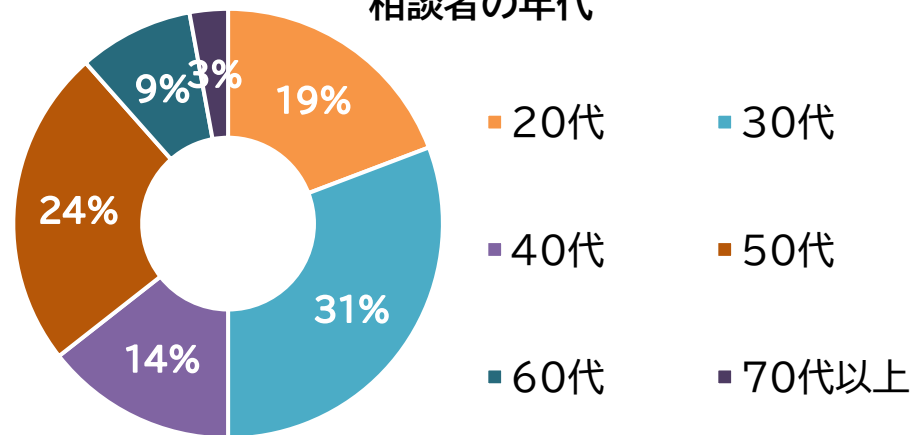
- 2025年3月末時点で104件の個別相談を実施。
- 相談者アンケートの満足度平均は4.67（5段階評価）。

※「今回の相談はいかがでしたか」に対する回答（大変よかった、よかった、ふつう、あまりよくなかった、よくなかった）の平均。

相談分野



相談者の年代



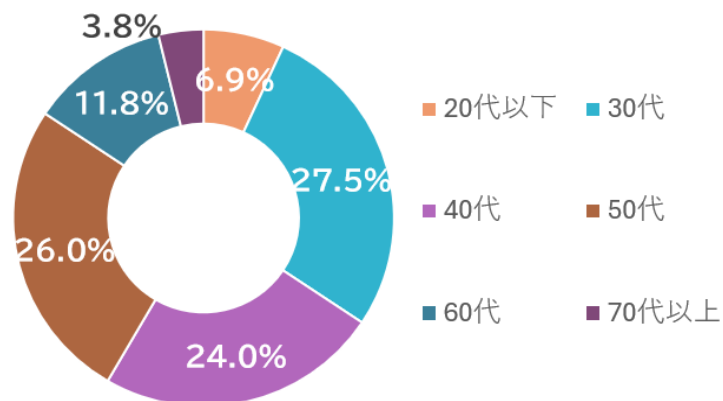
【主な感想】

- ・ 話を聞く前と後ではお金に対する考え方が変わった気がするので、有料サービスでアドバイスをもらう事も一つの選択肢として考えておきたいと思いました。
- ・ 情報が溢れすぎていて何を信じればいいのかわからなかったですが、今回は私の情報をお伝えした上でアドバイスいただけたのでとても参考になりました。
- ・ 人生設計の中で個々人の状況に応じたお金に関する相談を受けられる場所があるのは、安心につながると感じました。

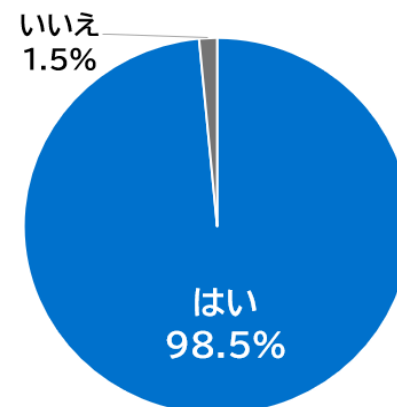
- 2025年3月末までに**264件のクーポン**を配布。
- 2025年3月末時点で**257名**をクーポン対象事業者として登録。
- **利用者アンケートの満足度平均は4.92(5段階評価)。**

※「相談したJ-FLEC認定アドバイザーの対応はいかがでしたか」に対する回答(大変よかった、よかった、ふつう、あまりよくなかった、よくなかった)の平均。

クーポン利用者年代分布



今後も有料のアドバイスを受けたいですか



【主な感想】

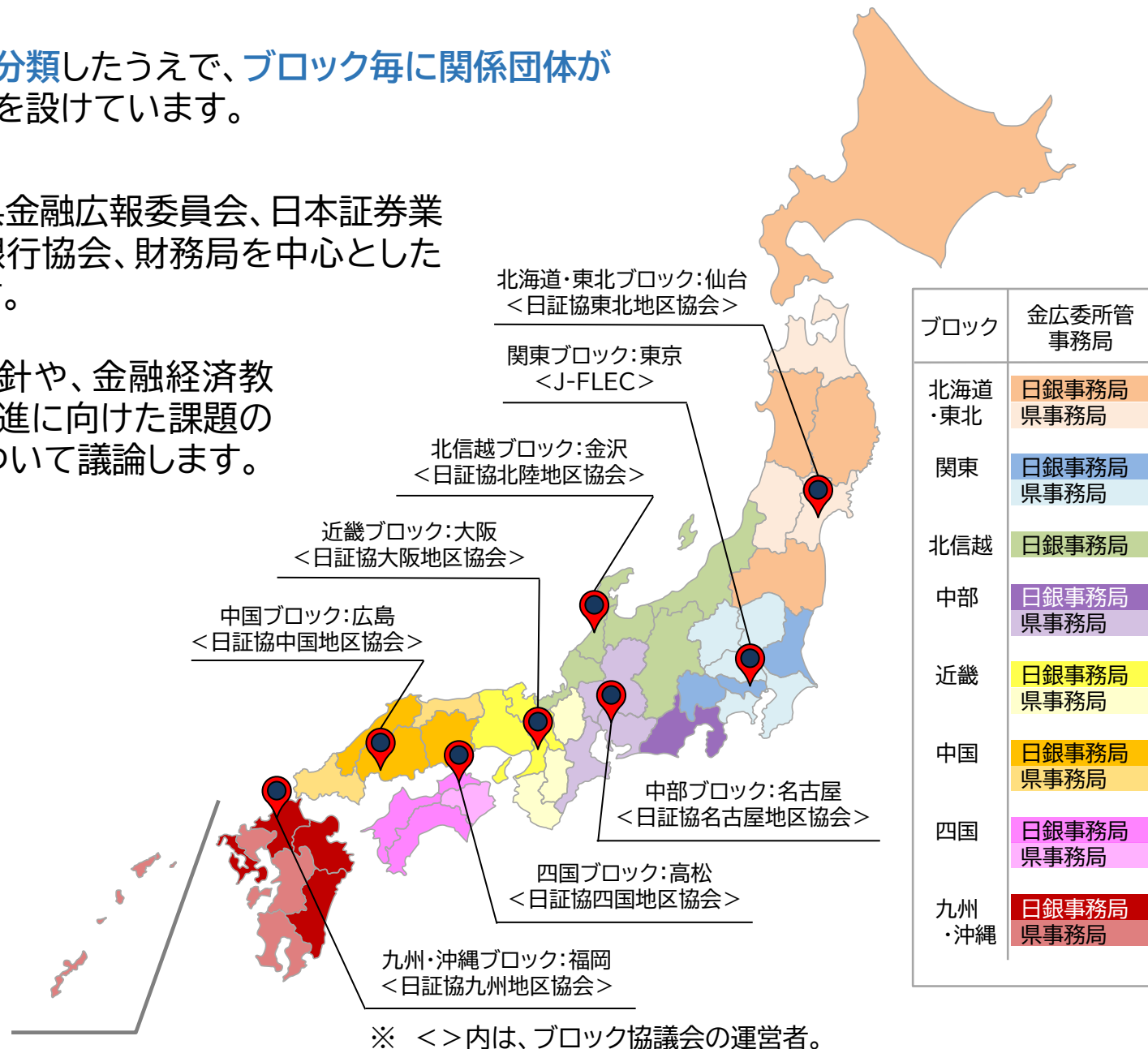
- ・ 具体的なライフプランを作成していただいたことで、自分がこれからどのような行動を起こしていけばよいかが明確になりました。
- ・ 普段はSNSから情報を得ていますが、一方的ではなく質問できる、すぐ答えが返ってくるというのは良いです。
- ・ 投資に対するアレルギーや恐怖心もありましたが、きちんと私や家族の考え方に寄り添ってアドバイスしてくれて中立的な姿勢がとても安心しました。
- ・ 有料であるからこそ、中立的な立場でアドバイスに安心感と納得感がありました。

【クーポン対象事業者(257名)の都道府県分布】(2025年3月31日時点)

都道府県名	人数	都道府県名	人数	都道府県名	人数	都道府県名	人数
北海道・東北ブロック(15)		北信越ブロック(9)		近畿ブロック(34)		四国ブロック(4)	
北海道	8	新潟	4	滋賀	0	徳島	1
青森	1	富山	1	京都	1	香川	1
岩手	1	石川	3	大阪	13	愛媛	2
宮城	3	福井	0	兵庫	14	高知	0
秋田	0	長野	1	奈良	5	九州・沖縄ブロック(16)	
山形	0	中部ブロック(17)		和歌山	1	福岡	5
福島	2	岐阜	2	中国ブロック(11)		佐賀	2
関東ブロック(151)		静岡	5	鳥取	2	長崎	3
茨城	4	愛知	10	島根	0	熊本	1
栃木	4	三重	0	岡山	4	大分	4
群馬	2			広島	5	宮崎	0
埼玉	19			山口	0	鹿児島	1
千葉	10					沖縄	0
東京	76						
神奈川	35						
山梨	1						

- 全国を8つのブロックに分類したうえで、ブロック毎に関係団体が情報・意見交換を行う場を設けています。

- ◆ J-FLECや各都道府県金融広報委員会、日本証券業協会地区協会、各地銀行協会、財務局を中心とした関係団体が参加します。
- ◆ 各関係団体の活動方針や、金融経済教育のさらなる普及・促進に向けた課題の共有および解決策について議論します。



- J-FLECのKPI(アウトプット)の達成状況(2024年12月末)は以下のとおり。

アウトプット

金融経済教育の提供

【金融経済教育の提供】具体的には…

J-FLECにおける講師派遣および主催・共催するセミナー・講座、イベント(オンデマンド配信を含む)の実施回数、参加人数をカウントしたもの。

K
P
IJ-FLECにおける
講師派遣等の

- ①年間実施回数
- ②年間参加人数

目
標

- ①1万回
- ②75万人

※これまで金融庁や各業界団体で行ってきた講師派遣等の回数は年間約5,000回、参加人数は年間約30万人

▼2024年度の達成状況

	実施回数		参加人数	
目標値	1万回		75万人	
	実績値(回)	KPI対比	実績値(人)	KPI対比
2024年4-12月	3,700	37.0%	225,191	30.0%

なお、2024年度入り後J-FLEC本格稼働前までの計数は、J-FLECに金融経済教育関連の機能を集約した関連5団体(金広委、全銀協、日証協、投信協、金融庁)の実績値を集計したものになります。



3. 令和7年度事業計画

I 取り巻く状況

- 金融経済教育の重要性が再確認される中、R6年度において当初予定した全事業を開始
- J-FLECの認知度向上に取り組みながら、提供サービスの量の拡充・質の向上を図る
- R7年度は、J-FLECが全期間を通じて事業を行う最初の年度であり、J-FLECの設立意義を踏まえた本格的な活動が求められる

II J-FLECのミッション／ビジョン(R6から変更なし)

- ミッション：
一人ひとりが描くファイナンシャル・ウェルビーイングを実現し、自立的で持続可能な生活を送ることのできる社会づくりに貢献する。
- ビジョン：
金融リテラシーの向上を図るプラットフォームとして、時代の移り変わりと個人の多様性に即した金融経済教育を提供し、いまと未来の暮らしをより良くする金融サービスの活用や安定的な資産の形成と管理を支援する。

III 業務方針

項目	対応方針
1. 講師派遣事業及びイベント・セミナー事業 (1) 講師派遣事業	✓ 派遣先の属性に応じたチラシの作成・配布等の広報強化や、いつでもどこでも学べる動画コンテンツの制作・配信による需要掘り起こし ✓ 講師数の拡充および広域派遣体制の整備 ✓ リピーター案件対応の一元化
(2) イベント・セミナー事業	✓ 主催イベント・セミナーの開催(年10回以上) ✓ 金融機関・地方自治体などその他の団体との共催・連携イベントの積極的開催および連携方法の多様化(ミニ相談会等) ✓ ブロック協議会等を通じた地方委との連携強化 ✓ 動画コンテンツの制作・配信
2. 個別相談事業	✓ 需要掘り起こしのための個人向け広報(事業チラシ、SNS/テレビ等)の強化 ✓ 地方イベントを活用したミニ相談会の実施

Ⅲ 業務方針(続き)

項目	対応方針
3. J-FLEC認定アドバイザーの普及・支援事業	✓ 関係団体との連携や認アドの活躍事例紹介を通じた地域偏在の解消、プロフィール情報の拡充・更新に向けた働きかけ ✓ 東京以外でのアドバイス実践研修の実施による、地方対象事業者の拡大 ✓ クーポン対象事業者に対する利用者評価の準備
4. 教育・アドバイスの質の向上	✓ 倫理・コンプライアンス研修・基礎知識研修の継続実施、教育・アドバイスのさらなる質の向上を図るためのフォローアップ研修の実施 ✓ 講義の質向上を図るための模範講義動画や体験型教材の解説動画の作成
5. 教材・コンテンツの充実	✓ R7夏を目途に、講師や関係団体等からの意見を踏まえた改訂等の実施(説明ポイントの明示、内容の充実) ✓ いつでもどこでも学べる動画コンテンツの制作・配信 ✓ 教員向けセミナーや関係団体との連携等を通じた教材・コンテンツの無償提供の拡大
6. 調査・統計を踏まえた戦略的な教育の展開	✓ KPI項目達成に向けた職域アンケートの着実な実施 ✓ 「金融リテラシー調査(3年毎)」、「家計の金融行動に関する世論調査(毎年)」の実施 ✓ 企業の実態・動向調査の実施
7. 学校等への支援 (1)金融経済教育研究校制度	✓ 研究校に対する支援強化(パイロットプロジェクトとして支援チームの立ち上げ、包括的マニュアルの作成・提供)
(2)学校・教員支援研究会	✓ 学校・教員支援研究会における学習指導案の作成・研究校との連携
(3)教員等への支援	✓ 教員向けセミナーの継続的開催 ✓ 教員グループへの助成等支援

Ⅲ 業務方針(続き)

項目	対応方針
8. その他の事業 (1)金融経済教育推進会議の運営	✓ J-FLEC、官公庁、関係団体及び有識者の連携、情報共有、意見交換の場としての機能発揮
(2)作文・小論文コンクールの実施	✓ 中学生・高校生を対象に、金融や経済についての関心を高め、思考力や表現力を養う機会としての役割発揮
(3)国際的な活動	✓ OECD/INFE活動への継続的参画
9. 組織への理解醸成	✓ 情報の積極的発信、広報の充実・強化 ✓ 対象層を踏まえたソーシャル・メディアの積極的活用、公共的使命を踏まえた信頼性の高い情報発信 ✓ アンケート調査の実施を通じた事業内容や事務運営の改善
10. 関係機関との連携	✓ 都道府県金融広報委員会、日証協地区協会、各地銀行協会、財務局・財務事務所のほか、関係団体との緊密な連携 ✓ ブロック協議会等により、各地方における金融経済教育活動に関するコミュニケーション機会を創出・発展
11. システム整備及び情報セキュリティの確保	✓ 各種事業システムの安定稼働を確保 ✓ 標準型攻撃を含む新たな脅威への対策等の継続的な改善 ✓ システムの適切な運用・管理や、役職員の情報セキュリティに関する意識の向上